

令和5年度（2023）

かごしま

近代文学館・メルヘン館年報

目 次

	頁
1 沿 革	1
2 施設概要	3
3 かがしま近代文学館	5
(1) 1階常設展示	5
(2) 2階常設展示「鹿児島文学の群像」	5
(3) 向田邦子の世界	5
(4) 文学ホール	5
(5) ライブラリー	5
4 かがしまメルヘン館	6
(1) おはなしのまち	6
(2) おはなしの散歩道	6
(3) 絵本のお城	6
(4) わくわくスタジオ	6
(5) メルヘンホール	6
(6) 親子読書コーナー	6
5 事業概要	7
かがしま近代文学館	7
かがしまメルヘン館	19
令和5年度かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 利用実績	24
令和5年度かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館 観覧料等収納額	26
6 収蔵資料概況	27
7 管理運営	29
(1) 利用者数	29
(2) 公益財団法人かがしま教育文化振興財団の概要	31
(3) かがしま近代文学館・かがしまメルヘン館事務の業務体制	31
8 かがしま近代文学館条例（平成9年 条例第35号）	32
9 かがしまメルヘン館条例（平成9年 条例第36号）	35

1 沿 革

かごしま近代文学館、かごしまメルヘン館のあゆみ

平成 3 年 12 月	近代文学館（仮称）、世界のおとぎの館（仮称）建設の検討を鹿児島市実施計画に発表
5 年 6 月 24 日	近代文学館（仮称）及び人形の館（仮称）基本構想・検討委員会設置
6 年 3 月 31 日	基本構想・基本計画策定
6 年 7 月 15 日	名称をかごしま近代文学館及びかごしまメルヘン館に変更
7 年 2 月 1 日	建築・展示基本設計完了
7 年 3 月 29 日	建築・展示実施設計完了
9 年 9 月 16 日	本体工事、電気設備工事、空気調和設備工事、給排水設備工事完成
9 年 10 月 3 日	かごしま近代文学館条例及びかごしまメルヘン館条例公布
9 年 11 月 28 日	展示工事完成
9 年 12 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社設立
10 年 1 月 1 日	かごしま近代文学館及びかごしまメルヘン館の管理運営業務を鹿児島市から財団法人鹿児島市教育施設管理公社に委託
10 年 1 月 28 日	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の落成記念式典開催
10 年 1 月 29 日	開館
10 年 9 月 5 日	かごしまメルヘン館常設展示入館者 10 万人達成
11 年 1 月 29 日	かごしま近代文学館初の特別企画展「有島三兄弟と白樺派」展の開催（～2 月 28 日）
12 年 3 月 5 日	かごしまメルヘン館常設展示入館者 20 万人達成
12 年 11 月 1 日	かごしま近代文学館常設展示入館者 10 万人達成
16 年 7 月 23 日	鹿児島県教育委員会が、かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館を、博物館法第 29 条により「博物館に相当する施設」として指定
18 年 4 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社がかごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の指定管理者として、管理運営を開始
19 年 10 月 4 日	かごしま近代文学館開館 10 周年記念イベント「宮尾登美子記念講演会」の開催
20 年 2 月 8 日	かごしまメルヘン館開館 10 周年記念イベント「エリック・カールの世界」展の開催（～3 月 9 日）
20 年 3 月 31 日	リニューアル基本計画策定

21 年 3 月 9 日	リニューアル基本設計・実施設計完了
21 年 7 月 3 日	かごしまメルヘン館初の特別企画展「ようこそ！絵本遊園地」の開催（～8 月 31 日）
22 年 7 月 5 日	リニューアル工事のため休館（～23 年 3 月 29 日）
23 年 3 月 30 日	展示施設リニューアルオープン
23 年 4 月 1 日	財団法人鹿児島市教育施設管理公社から、財団法人かごしま教育文化振興財団に名称 変更。財団法人かごしま教育文化振興財団がかごしま近代文学館・かごしまメルヘン館の 指定管理者として、管理運営を開始
23 年 5 月 13 日	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館合わせて、入館者 200 万人達成
23 年 7 月 15 日	かごしまメルヘン館リニューアル記念特別企画展「ミッフィーのたのしいお花畑」の開催 （～8 月 31 日）
23 年 10 月 14 日	かごしま近代文学館リニューアル記念特別企画展「島尾敏雄展」の開催（～11 月 13 日）
25 年 4 月 1 日	公益財団法人かごしま教育文化振興財団へ移行
25 年 10 月 4 日	北九州市立文学館、尾道市立美術館、新宿歴史博物館との協働企画、かごしま近代文学館 特別企画展「生誕 110 年林芙美子展 風も吹くなり雲も光るなり」の開催（～11 月 4 日）
28 年 2 月 24 日	かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館合わせて、入館者 300 万人達成
30 年 2 月 10 日	かごしまメルヘン館開館 20 周年記念事業「あこがれの絵本作家がやってきた！」 鈴木のみたけ×高島那生の開催（～11 日）
30 年 2 月 12 日	かごしま近代文学館開館 20 周年記念事業 島尾敏雄生誕 100 年、島尾ミホ没後 10 年記念 トークショー「島尾敏雄・ミホを辿って」の開催
令和元年 12 月 20 日	かごしま近代文学館・メルヘン館及び鹿児島市立美術館共用駐車場の供用開始
3 年 3 月 10 日	財団自主事業特別展「りぼん 250 万りぼんっ子♥大增刊号」の開催（～4 月 12 日）
5 年 1 月 25 日	かごしま近代文学館開館 25 周年記念企画展「かごしま近代文学館偏愛コレクション& 現代作家が紡ぐ鹿児島の物語」展の開催（～5 月 22 日）

2 施設概要 (令和5年4月1日現在)

(1) 施設規模等

- ① 所在地 鹿児島市城山町5番1号
- ② 建物構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地階1階 地上3階
- ③ 敷地面積 3,418.15 m²
- ④ 建築面積 2,289.36 m²
- ⑤ 延床面積 5,874.31 m²

※「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律」(通称「ハートビル法」)の認定建物

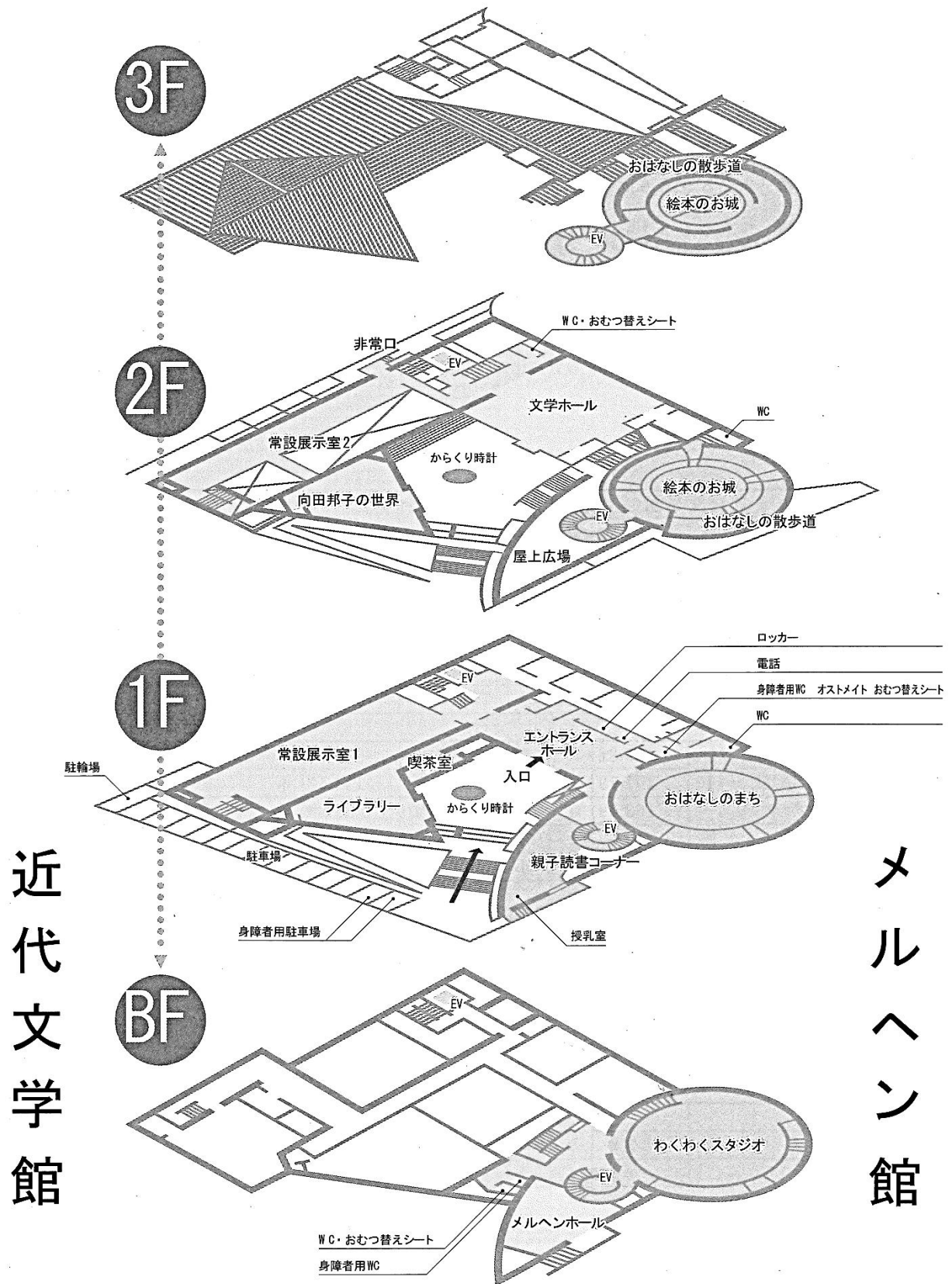
- ⑥ 管理運営主体 公益財団法人かごしま教育文化振興財団

- ⑦ 室別面積一覧表

(単位 ; m²)

区分 階数	かごしま近代文学館		かごしまメルヘン館		共用・管理部門		合 計
	室 名	面 積	室 名	面 積	室 名	面 積	
地下 1 階	収蔵庫-2	232.98	わくわくスタジオ	383.64	ロビー	40.06	2,039.49
	収蔵庫-3・前室	207.38	メルヘンホール	132.64	機械室	243.79	
	会議室	35.38	収蔵庫-1	134.49	ボンベ室	18.27	
	くん蒸室・前室	20.67	その他	41.57	ポンプ室	14.40	
	その他	39.41			その他	494.81	
	(小計)	535.82	(小計)	692.34	(小計)	811.33	
1 階	展示ロビー	59.22	おはなしのまち	383.64	エントランスホール	289.28	1,988.06
	常設展示室-1	401.79	親子読書コーナー	113.52	事務室	68.56	
	ライブラリー	163.69	書 庫	29.04	常務理事室	27.59	
	その他	19.09	その他	56.51	その他	376.13	
	(小計)	643.79	(小計)	582.71	(小計)	761.56	
2 階	展示ロビー	94.84	おはなしの散歩道	187.03	事務局	47.81	1,191.56
	常設展示室-2	184.37	その他	56.81	その他	157.41	
	文学ホール 企画展示室	321.30					
	向田邦子の世界	100.99					
	その他	40.00					
	(小計)	741.50	(小計)	243.84	(小計)	205.22	
3 階			おはなしの散歩道	267.91	屋外機置場	134.56	656.20
			その他	128.76	その他	124.97	
			(小計)	396.67	(小計)	259.53	
合計		1,921.11		1,915.56		2,037.64	5,874.31

(2) 平面図



3 かごしま近代文学館

鹿児島市は平成元年に市制施行 100 周年を迎え、その記念事業の一つとして児童文学作家・椋鳩十の業績を顕彰するため「椋鳩十児童文学賞」を創設しました。

そして、この賞で醸成された文学振興の気運を更に高めるため、鹿児島にゆかりのある作家とその作品などを紹介し、文学の振興を図る「かごしま近代文学館」を建設しました。

また、平成 23 年 3 月 30 日には装いも新たにリニューアルオープンし、作家たちが創作に傾けた情熱を来館者が体感し、自らの読書意欲や創作への興味を高められるようにと展示内容、展示方法を全面的に刷新しました。

地階 収蔵庫 2、収蔵庫 3、くん蒸室

1 階 「鹿児島情熱絵巻」、「鹿児島ゆかりの作家たち」、「ゆかりの作家たちの情熱」、「文学アトリエ」

2 階 「鹿児島文学の群像」、「向田邦子の世界」、文学ホール

(1) 1 階 常設展示

- ・「鹿児島情熱絵巻」…………… 鹿児島の情景とそこで生まれた文学作品を、映像演出により紹介するコーナー。
- ・「鹿児島ゆかりの作家たち」… 常設展示作家 28 人のポートレートと、作家たちの進る情熱を表現した言葉のレリーフが出迎えてくれるコーナー。
- ・「ゆかりの作家たちの情熱」… 鹿児島ゆかりの 5 人の作家が創作にかけた情熱を、様々なテーマの下、ジオラマや文学資料、遺愛の品々等をとおして紹介するコーナー。
＜展示作家＞ 海音寺潮五郎、林芙美子、椋鳩十、梅崎春生、島尾敏雄
- ・「文学アトリエ」…………… ことば遊びやワークショップ、読書を通じて、来館者がことばや文学に触れ合えるコーナー。

(2) 2 階 常設展示「鹿児島文学の群像」

- ・鹿児島ゆかりの 22 人の作家を紹介。また、様々なテーマで収蔵品展や企画展などを開催するコーナー。
＜展示作家＞ 有島武郎、有島生馬、里見弴、昇曙夢、山本實彦、古木鐵太郎、平林彪吾、妻木新平、一色次郎、黒田三郎、八田知紀、税所敦子、黒田清綱、高崎正風、吉井勇、萬造寺齊、森園天涙、杉田久女、山口誓子、篠原鳳作、藤後左右、福永耕二

(3) 向田邦子の世界

- ・少女時代の 2 年余りを過ごした鹿児島の地を「故郷もどき」と呼び、生涯鹿児島を愛し続けた向田邦子。ここでは、「作品世界」「ライフスタイル」「向田と鹿児島」などの展示構成で、いつ訪れても向田邦子の残り香に触れられる、そんな世界を演出しています。

(4) 文学ホール（約 200 人収容）

- ・館主催で文学講座や講演会・企画展等を開催するほか、貸ホールとして一般への貸し出しも行っています。

(5) ライブラリー（無料）

- ・鹿児島ゆかりの文学作品や文学雑誌などを、手に取って読める資料閲覧コーナーです。

4 かごしまメルヘン館

かごしまメルヘン館では平成 10 年の開館以来、世界の民話や童話を紹介してきました。そして平成 23 年 3 月 30 日のリニューアルでは、新たに、真っ白なキャンバスに思い思いの絵を描くように、来館者一人一人の想像力を膨らませてほしいとの願いから、展示コンセプトを「まっしろな絵本」としました。お話の世界を体感できるコーナーも増設され、遊びをとおして、お話や絵本に興味をつなげられる施設となっています。

地 階	わくわくスタジオ、メルヘンホール、収蔵庫 1
1 階	おはなしのまち、親子読書コーナー
2～3階	おはなしの散歩道、絵本のお城

(1) おはなしのまち

- ・おはなしのお家

「ヘンゼルとグレーテル」のお菓子のお家など童話に出てくるお家や変身グッズで、お話の世界を体感できる乳幼児向けのコーナー。

- ・お城でへんしん

鏡に映る自分の姿がお話の主人公に変身。

- ・ぼうけんの森

豆の木アスレチック、蜂の巣迷路、トランプトンネルなど、遊びながらお話の世界を体験。

(2) おはなしの散歩道

- ・トリックアート

だまし絵で見る「不思議の国のアリス」の世界。

(3) 絵本のお城

- ・絵本の小部屋

お薦め絵本の展示コーナー。

- ・人形の小部屋

お話に登場する人形などの展示。

(4) わくわくスタジオ（約 70 人収容）

- ・まっしろな絵本

真っ白なスクリーンにお話の主人公や舞台となる場所を決めながらオリジナルストーリーを完成させます。

- ・人形展示コーナー

季節の人形や郷土人形、物語の主人公の人形などを展示。

(5) メルヘンホール（約 100 人収容）

- ・おはなし会など普及支援事業を開催するほか、貸ホールとして一般への貸し出しも行っています。

(6) 親子読書コーナー（無料）

- ・絵本や紙芝居を親子が床に座って楽しめるコーナー。読み聞かせ会やおはなし会なども行います。

5 事業概要

かごしま近代文学館

常設展示の充実や企画展、各種講座及びイベント等を積極的に行い、鹿児島ゆかりの作家を中心に、資料の展示や作品の紹介を通して、文学の振興と普及に努めました。

特別企画展「没後 100 年 さまよえる有島武郎展」では、常設展示作家・有島武郎の人生を、豊富な資料で紹介するとともに関連イベントを開催しました。また、企画展「向田邦子のはじまり～ライフワークとなった「だいこんの花」～」、「没後 30 年 山口誓子展～伝統の中から新しい俳句を～」を開催し、鹿児島にゆかりのある作家や作品の魅力について、市内外に情報発信しました。

(1) 教育文化施設の管理及び運営に関する事業

① 施設の維持管理

館の敷地（駐車場を含む。）、建築物・展示物等の施設及び付属設備・備品の維持管理を適切に行いました。

② 常設展示

常設展示室各コーナーの展示資料を入れ替え、再来館者にも新たな視点で文学への興味関心を深めていただけるように努めました。

ア 鹿児島ゆかりの作家たち（導入展示）

節目の年を迎えた常設展示作家を中心に、相応しいテーマを設けて紹介しました。

期間	テーマ	展示資料
4/1～6/2	生誕 120 年 林芙美子	林芙美子 原稿「清貧の書」、図書『蒼馬を見たり』、図書『晩菊』
6/3～7/31	没後 100 年 有島武郎と弟たち	有島生馬 原稿「滞欧画帖の刊行にあたって」、里見弴 図書『安城家の兄弟』、雑誌「白樺」第 1 巻第 4 号（復刻版）
8/2～9/30	生誕 120 年 平林彪吾	平林彪吾 図書『月のある庭』、雑誌「文藝」昭和 11 年 12 月号（「輸血協会」掲載）、雑誌「文藝」昭和 14 年 6 月号（「焼酎村」掲載）
10/1～11/30	〇〇の秋	夏目漱石 図書『三四郎』（復刻版）、向田邦子 複製原稿「おひろめ」、「ままや」お品書き、杉田久女 スケッチ「花瓶のダリア」
12/1～2/4	文学者たちへの年賀状	北原白秋 萬造寺齊宛て年賀状、江戸川乱歩 梅崎春生宛て年賀状、浜田到 黒田三郎宛て年賀状
2/5～3/31	没後 70 年 古木鐵太郎	古木鐵太郎 図書『現代作家印象記』、複製原稿「紅いノート」、複製短冊「心は直き一つ心」

イ ゆかりの作家たちの情熱（5人の作家）

5人の作家について、パネル及び資料の一部の入替えを行いました。

時期	作家	展示資料	新規展示数
1月	海音寺潮五郎	大色紙「わが前に桜島あり西郷も大久保も見し火を噴く山ぞ」、自筆ノート「西郷文書口語訳」、装丁画『江戸開城』、遺品 蓋付湯呑 等	16点
	林芙美子	葉書 中川與一宛て、絵葉書 木内高音宛て、図書『コミック版放浪記』 等	7点
	棕鳩十	色紙「蝸や松の林の夕やけて」、新聞切抜「小さい命」（「西日本新聞」昭和41年8月9日）、絵本『大造じいさんとガン』 等	40点
	梅崎春生	複製原稿「桜島」、遺品 カメラ、原稿「ボロ家の春秋」、葉書 直木賞受賞祝賀会案内状、図書『OCCURRENCES OF AN DILAPID HOUSE』 等	11点
	島尾敏雄	絵葉書 家族あて（昭和40年9月～10月）、日記「アメリカ招待旅行日記」、遺品 ヤスナ・グラ修道院の模型、アイコン「黒い聖母」 等	27点

ウ 向田邦子の世界

2月に「向田邦子の世界」コーナーの資料及びパネルの入替えを行いました。

展示資料	展示数
原稿「楠」、雑誌「映画ストーリー」昭和34年8月号、原稿「伽倻伽」、宮川寅雄画「マミオ伯爵を抱く向田邦子女士」、台本「寺内貫太郎一家」、草稿「四角い帽子」、遺品 ベージュのスーツ、寸胴鍋、勝負服（クリスチャン・ジョス）、直木三十五賞副賞の懐中時計 等	42点

エ 鹿児島文学の群像（22人の作家）

常設展示の22人の作家の資料の入替えを行いました。

時期	展示資料	新規展示数
5月	有島武郎 封書 津田青楓宛て、山本實彦 名刺、古木鐵太郎 原稿「春の舗道」、妻木新平 原稿「わが追想 二」、黒田清綱 短冊「樹陰納涼 松かげは風ばかりかは音すみてこけの下ゆく水もありけり」、森園天涙 遺品 帯、山口誓子 短冊「走馬燈船の上にも海を描く」、福永耕二 色紙「樗には樗の花の朝ぐもり」 等	152点
11月	里見弴 原稿『安城家の兄弟』あとがき、一色次郎 図書『宮本武蔵』、税所敦子 色紙「梅花何方 若菜つむをとめにとへと廣きのうめのありかはしらぬなりけり」、篠原鳳作 昭和10年の日記帳（複製）、藤後左右 短冊「尾を振々年始廻りにゆく鶴鴒」 等	49点
3月	有島生馬 書幅「漢國山河在泰陵草樹深暮雲千里色無虎不傷心」、昇曙夢 図書『留守家族』、黒田三郎 詩稿「梢で木の葉が燃え」、高崎正風 図書『埋木廼花』、杉田久女 句幅「こもり居の門邊の菊も時雨さび」、吉井勇 歌幅「岩ありて天つ日ありて波ありて伊豫の二見はかしこかりけり」、萬造寺齊 遺品 トランク 等	146点

オ 本のひろば（特集）

芥川賞・直木賞の受賞作など、最新の出版物の紹介や展示作家の関連本の展示などを行いました。

時期	テーマ	展示資料
6 月	〇〇太平記	直木三十五『南国太平記』 谷崎潤一郎『台所太平記』 海音寺潮五郎『明治太平記』 等
8 月	第 169 回 芥川賞・直木賞 受賞作品	市川沙央『ハンチバック』 垣根涼介『極楽征夷大將軍』 永井紗耶子『木挽町のあだ討ち』
1 月	第 170 回 芥川賞・直木賞 受賞作品	九段理江『東京都同情塔』 河崎秋子『ともぐい』 万城目学『八月の御所グラウンド』

カ 本のひろば（ランキングコーナー）

リレー方式で、さまざまな分野で活躍されている方に独自のランキングを作ってもらい、その本をコメント入りで紹介し、展示しました。

期間	テーマ	紹介者
4 月～ 6 月	知らない何かに出会える本ランキング	川崎ひろとも（鹿児島での読書会が懐かしい川崎）
7 月～ 9 月	子どもと楽しむ絵本の世界	関健次郎（団体職員）
10 月～12 月	ごく個人的な教育カタルシス	堂園春衣（認定こども園錦ヶ丘園長）
1 月～ 3 月	朗読 Café 主宰者が、独断と偏見で選ぶ本好きに贈りたい本	梶原末廣（「かごしま朗読 Café」代表）

キ 本のひろば（今月の一冊）

かごしま近代文学館スタッフによる、お勧めの本を毎月 1 冊紹介しました。

展示資料	
笹公人・短歌、北村みなみ・絵『パラレル百景』 しおたにまみこ『たまごのはなし』 町田康『リフォームの爆発』 小川糸『ツバキ文具店』 土屋守『シングルモルトウィスキー大全』 麻生知子『なつやすみ』 俵万智『とれたての短歌です。』	ホイットマン・作、飯野友幸・訳『おれにはアメリカの歌声が聴こえる一草の葉（抄）』 小風さち・文、山口マオ・絵『わにわに』シリーズ 小川糸『これだけで、幸せ』 西村亨『自分以外全員他人』 和田博文『星の文学館 銀河も彗星も』

③ ホール（文学ホール、メルヘンホール）使用の許可等の業務

ホールの各施設、備品等の使用に係る受付・許可及び使用料の収納事務を行いました。
また、ホールの空き状況を館のホームページで公開しました。

区分	貸ホール日数	当館使用日数	総使用日数
	稼働率	稼働率	稼働率
文学ホール	10 日	155 日	165 日
	3.2%	50.3%	53.5%
メルヘンホール	41 日	111 日	152 日
	13.3%	36.0%	49.3%

※文学ホール 200 人収容 メルヘンホール 100 人収容

④ モニタリング（メルヘン館と共通）

常設展示や特別企画展の観覧者や、講座、イベント等の参加者にアンケートを実施しました。これに基づき、利用者の傾向、要望、意見等を分析、検討し、可能な限り迅速に対応しました。

(2) 学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業

① 特別企画展

「没後 100 年 さまよえる有島武郎展」

鹿児島出身の父を持ち、代表作「或る女」「生れ出づる悩み」「カインの末裔」など数々の名作を生み出した作家・有島武郎の人生を豊富な資料で辿りました。また、人気のオンラインゲーム「文豪とアルケミスト」とのタイアップ企画も実施しました。

展示資料	開催期間	入場者数
有島家家系図、父・武の書「瓜田不容履李下不正冠」、原稿「慶長武士」、日記帳「観想録」、愛用の聖書、滞欧中の自筆水彩絵はがき、有島農場金銭出納日記帳、桜島を描いた手帖、原稿「生れ出づる悩み」、書簡 木田金次郎宛て、自筆「解放記念碑文案」、書簡 波多野秋子宛て、遺書 等 120 点	10/27～11/27 28 日間	594 人

《関連事業》

ア 文学講座

講師	内容	会場	開催日	参加者数
伊藤大介（有島記念館主任学芸員）	有島武郎がつなぐ北海道と鹿児島	メルヘンホール	11/5	29 人
杉淵洋一（聖学院大学准教授）	有島武郎『或る女』をめぐる物語			41 人

イ 朗読会「有島武郎がたどり着いた場所」

出演	内容	会場	開催日	参加者数
本郷弦（俳優）	「有島農場解放碑文案」「小さき者へ」「惜みなく愛は奪う」他	ライブラリー	11/26	46 人

② 企画展

ア 「向田邦子のはじまり～ライフワークとなった「だいこんの花」～」

向田の脚本家人生のはじまりと、ライフワークとなったテレビドラマ「だいこんの花」を中心に、向田ドラマの新たな魅力を紹介しました。

展示資料	開催期間	入館者数
台本「だいこんの花」、草稿「だいこんの花」、構想メモ「カンガルーの反乱」、原稿「びっくり箱」等 110点	11/1～1/22 68日間	2,933人

《関連事業》

講演会「阿修羅とミシンー向田邦子のテレビドラマ」

講師	会場	開催日	参加者数
岡室美奈子（早稲田大学文学学術院教授、早稲田演劇博物館前館長）	文学ホール	12/3	74人

イ 没後 30 年 山口誓子展～伝統の中から新しい俳句を～

鹿児島にルーツを持ち、近代俳句に大きな足跡を残した俳人・山口誓子の生涯と作品を紹介しました。

展示資料	開催期間	入館者数
短冊「流氷や宗谷の門波荒れやまず」、色紙「学問のさびしさに堪へ炭をつぐ」、句集『凍港』、書幅「七月の青嶺まぢかく熔鉱炉」、鹿児島旅行へ携帯した句帖、書簡 野尻抱影 山口誓子あて、共著『星恋』、主宰誌「天狼」等 101点	1/25～3/25 53日間	1,615人

《関連事業》

講演会「山口誓子を知る」

講師	会場	開催日	参加者数
米田恵子（神戸大学山口誓子記念館、誓子・波津女俳句俳諧文庫）	メルヘンホール	3/9	43人

③ 収蔵資料の充実

ア 文学資料の収集・保存

常設展示作家の資料、鹿児島ゆかりの文学作品及び文芸雑誌等の収集を行いました。なお、文学資料等の収集については、かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館資料収集検討委員会に諮った結果を鹿児島市に報告し、購入・寄贈の手続きをとりました。また、資料については、博物・文学等の専門知識を有した学芸員又は司書により、体系的に整理し収蔵庫に保存しました。

(主な収集資料)

受入区分	作家名	資料名
購入	椋鳩十	葉書 塚原健二郎宛て
	森園天涙	短冊「たけやまの吹きゆく風の波がしらうねりさみしき夕まぐれかも」
	山口誓子	色紙幅「碧揚羽通るを時の驕りとす」 色紙「手花火に妹がかひなの照らさるる」 等
寄贈	海音寺潮五郎	遺品 腕時計
	向田邦子	原稿「伽倻伽」
	島尾敏雄	遺品 コート
	福永耕二	色紙「子の幃に妻みて妻もうすみどり」 色紙「色鳥やわが靴のいつ磨かれし」
寄託	椋鳩十	原稿「ほうまんの池のカップ」

イ 収集文学資料の整理

収集した文学資料の装備、データ入力を行いました。

ウ 収蔵資料の修復

作家名	資料名	点数
黒田三郎	詩幅「秋の日の午後三時」	書幅 1 点
黒田清綱	書簡 黒田清綱宛て	巻紙 1 点

④ 海音寺潮五郎を顕彰する事業 【財団自主事業】

ア 文学資料の整理・入力等

財団法人海音寺潮五郎記念館（平成 24 年解散）から寄贈を受けた資料の整理・入力等を行いました。

イ 著作権の管理及び活用

財団法人海音寺潮五郎記念館（平成 24 年解散）から寄付を受けた著作権の管理を行いました。

ウ 視聴覚資料のデジタルデータ化業務

所蔵資料のビデオテープの一部をデジタルデータ化しました。

(3) 学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業

① 講座・教室

ア 小説鑑賞講座「川端康成の初期作品を読む」

川端康成の『伊豆の踊子』をテキストに、作品を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6月～3月 各第4木曜日※1 (10回)	定員 60人 応募 50人 延べ受講者数 341人
		6月～3月 各第4金曜日※2 (10回)	定員 60人 応募 50人 延べ受講者数 397人

※1 9月、10月、12月、3月は第3木曜日に実施。第9回目（2月）は3月7日に延期して実施。

※2 10月は第3金曜日に実施。第9回目（2月）は3月8日に延期して実施。

イ 「戦後の小説を読む」

昭和20年代に発表された志賀直哉や林芙美子らの小説の文章について、テキストを基に学びました。

講師	会場	開催日	実績
石田忠彦（かごしま近代文学館アドバイザー）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6月～3月 各第1土曜日 (10回)	定員 60人 応募 66人 延べ受講者数 474人

ウ 文学入門講座「《解説＝快読 夏目漱石》転換期の実験作『彼岸過迄』を読む」

夏目漱石の後期三部作（「行人」「こゝろ」）の幕開けとなった「彼岸過迄」を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
村瀬士朗（鹿児島国際大学教授）	メルヘンホール 又は 文学ホール	6月～10月※ 各第2日曜日 (5回)	定員 60人 応募 60人 延べ受講者数 214人

※7月、8月は第3日曜日に実施。

エ 朗読ボランティアステップアップ講座

かごしま近代文学館のボランティア「きんめるサポーター」に向けて、「朗読の時間」で朗読を行う上での実践指導を行いました。

講師	会場	開催日	実績
浜本麗歌（朗読家）	メルヘンホール	5/22、8/30、 12/4、1/29、2/10 (5回)	延べ受講者数 15人

オ 日曜文学講座「入試問題を読む 津村記久子短編集『サキの忘れ物』」

2021 年の大学入学共通テストに採用され、およそ 45 万人が読んだ津村記久子の『サキの忘れ物』をテキストに、作品を読み解きました。

講師	会場	開催日	実績
廣尾理世子（鹿児島純心女子高等学校教諭）	メルヘンホール 又は 文学ホール	11 月～3 月 各第 3 日曜日※ (5 回)	定員 60 人 応募 31 人 延べ受講者数 133 人

※第 4 回目（2 月）は 3 月 10 日に延期して実施。

カ 俳句ことはじめ

俳句づくりの基本について、吟行や句会を交えて学びました。

講師	会場	開催日	実績
丸山真（俳人、俳句雑誌「火の島」編集・発行人）	メルヘンホール	11 月～3 月 各第 3 土曜日 (5 回)	定員 30 人 応募 23 人 延べ受講者数 89 人

キ 文学講座「鹿児島ゆかりの作家を学ぶー詩人・うるし山千尋さんの創作体験ー」

2021 年、「ライトゲージ」ほか 14 編で南日本文学賞、2022 年、『ライトゲージ』で第 72 回 H 氏賞を受賞した鹿児島在住の詩人・うるし山千尋氏を講師に迎え、自身の読書体験や詩を書き始めた経緯、創作について語っていただきました。

講師	会場	開催日	実績
うるし山千尋（詩人）	メルヘンホール	9/24	定員 40 人 受講者数 25 人

ク 脚本リーディング「向田邦子脚本『だいこんの花』を読む」

向田邦子脚本のドラマ「だいこんの花」のリーディングをとおして、作品の魅力を伝えました。

講師	会場	開催日	実績
福藺宏美（劇団 LOKE 代表、俳優、劇作家）	メルヘンホール	11/4、11/18、 12/9、12/16、 12/23 (5 回)	定員(1 回 15 人) 15 人 応募 14 人 延べ受講者数 42 人

② イベント等

ア ゴールデンウィークイベント 4/29～5/7 （メルヘン館と同時開催）

(7) ブックマルシェ

本のフリーマーケットを開催しました。

出店数	会場	開催日	参加者数
14 店	エントランス及び からくり時計前広場	5/3、5/4 (2 日間)	1,665 人

(イ) リサイクルブックエイド～本で寄付するプロジェクト～

不要になった古本を集め、アジアにおける図書館運営や図書館員の育成、絵本出版などに役立てる活動を支援しました。

収集冊数	寄付額	開催日	参加者数
518 冊	16,798 円	4/29～5/7	21 人

イ 現代作家が語るトークイベント「日々の暮らしから生まれる物語」

『ツバキ文具店』『食堂かたつむり』等で人気の小説家・小川糸氏をお招きして、自身の創作体験や作品、ライフスタイル等について語っていただきました。

講師	会場	開催日	参加者数
小川糸（作家）	文学ホール	1/28	159 人

ウ 朗読の時間

常設展示室において、「きんめるサポーター」（ボランティア）が、かごしま近代文学館の展示作家や鹿児島ゆかりの文学作品を中心に文学作品等の朗読を行いました。

テーマ	作品	出演	開催日	参加者数
朗読と映像「週末のアルペジオ」	三角みづ紀『週末のアルペジオ』	朗読：三角みづ紀 映像：小林大賀	4/15	26 人
夢にまつわる物語	夏目漱石「夢十夜」 島尾敏雄「夢日記」 向田邦子『『あ・うん』あとがき』	きんめるサポーター（ボランティア）	6/3	33 人
棕鳩十・島をめぐる物語	「悪石島の少年」 「ほうまんの池のカッパ」		9/3	15 人
生誕 120 年 林芙美子作品朗読会	「女工の唄へる」「（無題）」「苦しい唄」「新イソップ」「下駄で歩いたパリー」「赤いスリッパ」「鶴の笛」		12/24	17 人
雪の朗読会	向田邦子「殴る蹴る」 中原中也「汚れつちまつた悲しみに……」 金子みすゞ「淡雪」他 宮沢賢治「雪渡り」		2/4	19 人
「星戀」朗読会（山口誓子展関連イベント）	山口誓子・俳句、野尻抱影・随筆『星戀』		2/25	17 人
合 計			6 日	127 人

エ 学芸員によるギャラリートーク（メルヘン館と共通）

開催中の特別企画展等の見どころを、学芸員が分かりやすく解説しました。

内容	開催日	参加者数
特別企画展「まるごと馬場のぼる展 描いた つくった楽しんだ ニャゴ！」	8/5	19 人
特別企画展「没後 100 年 さまよえる有島武郎展」	10/29	5 人
企画展「向田邦子のはじまり～ライフワークとなった「だいこんの花」～」	11/25	6 人
企画展「没後 30 年 山口誓子展～伝統の中から新しい俳句を～」	1/29	7 人
合 計	4 日	37 人

オ 古書店主によるブックトーク

古書店主 2 人に、「天文館で街歩きをする人へすすめたい本」「読書入門にもおすすめ 短編集 or アンソロジー」「大人にもすすめたい絵本」「装丁に惹かれる本」「短歌・俳句ブームの今おすすめの歌集 or 句集」「積読万歳！私がいつか読みたい本」の 6 テーマで、おすすめの本を紹介していただきました。

講師	会場	開催日	参加者数
諏訪田寛人（ブックスパーチ） 杣谷健太（books selva）	ライブラリー	10/22	32 人

③ 文化芸術振興事業の実施〔受託事業〕

児童文学創作講座

鹿児島市の委託を受け、児童文学作家を講師に、児童文学についての基礎的知識や創作方法等の座学、受講生の作品の添削指導等を通して、児童文学の書き手を育てる講座を実施しました。

講師	会場	開催日	参加者数
村中李衣（児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授）	メルヘンホール	11/3	14 人
		11/12	14 人
		12/3	14 人
合 計		3 日	42 人

④ 関係機関との連携、共催事業・協力

事業名	開催日	参加者数
スタンプラリー「かごしま春の本めぐり」 （共催）天文館図書館、古書リゼット、ブックスパーチ、books selva	4/30～5/14	—
有島武郎没後 100 年 今・読み直す・『或る女』 （共催）鹿児島国際大学	7/9	48 人

認定絵本士養成講座 (主催) 鹿児島女子短期大学	12/14	22 人
「人に贈りたい本」読書会 (共催) 天文館図書館、古書リゼット、ブックスパーチ、 books selva	12/17	10 人
研究者が語る浜田到の歌と世界 (主催) 浜田到を語る会	2/3	70 人
芸術体験ワークショップ「俳句と書から自己をみつめる」 (主催) かごしま文化情報センター	3/17	15 人

⑤ 実習等の受入れ等（メルヘン館と共通）

内容	校数	人数
博物館実習	5 校	6 人
中高生職場体験学習	8 校	28 人
教職員 2 年目研修	1 校	2 人

⑥ ボランティアの活用（メルヘン館と共通）

館の運営や事業、広報活動のサポートをしていただくボランティア「きんめるサポーター」を募集し、さまざまな活動を行っていただきました。

内容	実施（回）	参加者数
朗読、読み聞かせ、発送作業、配架整理、イベント補助など	111 回	延べ 219 人

令和 5 年度ボランティア登録者数 37 人

⑦ 広報活動（メルヘン館と共通）

行事や催し物について、「館だより」を隔月発行し、市内の保育園・幼稚園・小学校等に配布しました。

特別企画展や企画展、講座、イベントなどの開催については、市民のひろばや市政広報番組への広報協力要請はもとより、新聞社、放送局、地元情報誌等への情報提供を通じての広報活動に努めました。

最新の情報はホームページに掲載するほか、即応性が高いフェイスブック、エックス、インスタグラム等のソーシャルメディアを活用し、周知を図りました。

⑧ 職員研修（メルヘン館と共通）

常設展示作家に関する講座やソーシャルメディア活用に関する研修会等に参加し、職員の館運営、企画、広報等における資質向上に努めました。

また、地震や火災等発生時における避難誘導訓練や AED 講習など、緊急事態に対応す

るための研修を行いました。

(4) 利用者サービス事業（メルヘン館と共通）

引き続き公衆電話を設置したほか、ミュージアムショップにおいて特別企画展関連書籍、グッズや地元出版社の書籍及び当館の所蔵品等をモチーフにしたオリジナルグッズ等の販売を行い、来館者へのサービス向上に努めました。

かごしまメルヘン館

魅力的で親しみやすい館づくりを目指し、常設展示やエントランスホール等の季節展示のほか、各種イベントの充実に努めました。

また、特別企画展「まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ！」では、3世代にわたって愛される馬場のぼる作品を紹介し、夏休み期間中の来館者増に努めました。

(1) 教育文化施設の管理及び運営に関する事業

① 施設の維持管理

館の敷地（駐車場を含む。）、建築物・展示物等の施設及び附属設備・備品の維持管理を適切に行いました。

② 常設展示

資料の入替えを定期的に行いました。

ア 人形展示コーナー（地下1階）

期間	展示内容
4/1～6/23	もふもふ めいぐるみとテディベア
6/24～9/22	コドモオモチャ大集合
9/23～12/8	Doll Collection～アンティークドールに恋して～
12/9～3/31	福来れ！ ふくもの図鑑

イ 絵本の小部屋（絵本のお城3階）

期間	展示内容
4/1～6/4	かごしまのえほん
6/5～9/6	海の絵本
9/7～11/30	ハロウィンと実りの秋
12/1～2/29	龍と冬の絵本
3/1～3/31	桃の節句 端午の節句

ウ メルヘンアトリエ（おはなしの散歩道壁面）

期間	展示内容
4/1～5/22	桃の節句 端午の節句
5/24～7/3	おべんとう
7/5～9/14	海の生き物
9/15～2/22	おおきなかぶ
2/23～3/31	となりの花さかじじい

エ おはなしのまち（1階）

「おはなしのお家」（お菓子のお家、森のお家及びお城）、おもちゃ及び絵本等の定期的な入替えを行いました。

オ エントランスホール

期間	展示内容
4/1～4/27	雛人形（折紙）
4/28～7/5	五月人形（折紙）
7/6～11/5	11ぴきのねこを折ろう
11/6～12/26	クリスマスツリー
12/27～2/8	十二支（折紙）
2/9～3/31	雛人形（折紙）

(2) 学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業

① 特別企画展「まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ！」

絵本「11 ぴきのねこ」シリーズで知られる漫画家・馬場のぼるの絵本や漫画の原稿、スケッチブック、幼少期や青年期の作品、楽しみのために制作した絵画や立体作品の展示のほか、馬場を取り巻く交友関係も合わせて紹介しました。

展示資料	開催期間	入場者数
リトグラフ「11 ぴきのねこ」シリーズ、アイデアスケッチ『11 ぴきのねことあほうどり』、絵本原画『ぶどう畑のアオさん』等 223 点	7/14～9/4 45 日間	11,460 人

《関連事業》

ア 「11 ぴきのねこ」と写真を撮ろう！

出演	会場	開催日	参加者数
「11 ぴきのねこ」シリーズから〈とらねこ大将〉と〈ねこ〉2体の着ぐるみ	エントランス ホール	7/22	171 人
		7/23	191 人
		7/30	185 人
合 計		3 日	547 人

イ 消しゴムはんこワークショップ

内容	講師	開催日	参加者数
消しゴムはんこで、多色刷り風のオリジナルバッグを作成	横手順子（貼り絵・はんこ作家、イラストレーター）	8/6	41 人

ウ おはなし会

出演	会場	開催日	参加者数
きんめるサポーター 他	親子読書コーナー	8/12	16 人

② 収蔵資料の充実

人形資料等の収集・保存

博物・文学等の専門知識を有した学芸員又は司書により、体系的に整理し、収蔵庫に保存しました。

(3) 学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業

① 講座・教室

講座・教室名	講師	開催日	参加者数
読み聞かせボランティアステップアップ講座	鳥羽啓子(ストーリーテリングの会「おはなしの森」代表)	5/21	9 人
わらべうた教室	三島理恵(松田ピアノ友社講師)	毎月 第2金曜日 ※	182 人
折り紙ワークショップ	折遊かごしま	奇数月の 第4土曜日	116 人
「薩摩糸びな」手づくりワークショップ	新山禮子(工房「小澤人形」)	2/4	13 人
絵本講演会「おはなしの階段～赤ちゃん絵本から幼年童話まで～」	小風さち(絵本作家)	2/12	90 人
「お家で楽しむ絵本の時間」【新規】	森ゆかり(絵本専門士)	9/15	25 人

※7月、8月は第1金曜日に実施。

② イベント等

ア おはなし会・読み聞かせ

行事名	出演者	開催日	参加者数
えほんのじかん(幼児・小学生向け)	きんめるサポーター 他	土曜日(第2を除く。)	485 人
おはなしのじかん(乳幼児向け)		月曜日	645 人
メルヘンおはなし会	おはなしさんぽ	第2土曜日	118 人

イ ゴールデンウィークイベント 4/29～5/7 (近代文学館と同時開催)

行事名	講師	開催日	参加者数
ワークショップ「おうち絵本をつくろう！」	原田美夏氏(イラストレーター)	4/30	28 人
メルくんルンちゃんと写真をとろう	—	5/5	269 人
ふるさと考古歴史館がやってきた(ふるさと考古歴史館との共働事業)	ふるさと考古歴史館	5/7	78 人

ウ 親子でライブペインティング

内容	講師	開催日	参加者数
館内の窓に、キットパスで、春の物語 や昔話の絵を描く	江夏潤一（イラスト レーター）	3/17	23 人
キットパス エソラ体験コーナー	きんめるサポータ ー		22 人
合 計			45 人

エ お正月イベント

行事名	開催日	参加者数
メルくんルンちゃんと写真をとろう	1/2	107 人
からくり人形実演会「椅子乗り」「ハーブ弾き」	1/3	61 人
合 計	2 日	168 人

③ 関係機関との連携、共催事業

内容	開催日	参加者数
メルヘンコンサート&おはなし会 in 山形屋 （共催）宝山ホール、山形屋	9/18	237 人
春のふれあいコンサート&メルヘンおはなし会 （谷山サザンホール、ふるさと考古歴史館との共働事業）	3/2	57 人

④ 文化芸術振興事業の実施〔受託事業〕

ア 第 45 回 子どもたちに聞かせたい創作童話

鹿児島市の委託を受けて、「子どもたちの夢をはぐくみ、美しい心を育てたい」という願いのもと、創作童話を募集し、その優秀作品を「子どもたちに聞かせたい創作童話」作品集として刊行する事業を実施しました。

募集区分	第 1 部 保育園・幼稚園児、小学校低学年児童向けの作品 第 2 部 小学校中・高学年児童向けの作品		
募集期間	6/1～9/11		
応募実績	第 1 部 70 点 第 2 部 71 点 合計 141 点		
選考委員	有村恵（鹿児島市小学校国語部会会長、鹿児島市立吉田小学校長） 内村英人（鹿児島県小学校教育研究会国語部会会長、鹿児島市立喜入小学校長） 勝本祥治（鹿児島市立生見小学校長） 久保田里花（児童文学作家、椋鳩十研究家） 小山陽子（鹿児島市立図書館図書係主幹兼図書係長）		
表彰式	2/25 25 人出席		
受賞作品 及び 入 選 者	第 1 部 特 選 入 選 入 選 佳 作 佳 作 佳 作	なないろキュウリのひみつ イタイのイタイのたべちゃうぞ だましたぬきの親切ごっこ ドキドキ天気よほう 子ダヌキと西風 階段が家出した	あいばみか 鷺尾千恵 さいだ・としひろ 斉藤輝昭 阿部忠彦 秋野三歩

	第2部 特選	手紙の好きなおばあさん	末永志穂
	入選	ヘアゴムの魔法	外菌淳
	入選	さるいわ	千雲さや
	入選	ユキメガネ	岬とうこ
	佳作	白いタンポポ	いっき

イ 「金の鈴」読み聞かせ会

小学生の読書活動へのきっかけづくりとするため、校区公民館等でのボランティアによる読み聞かせ会を鹿児島市の委託を受けて実施しました。

実施時期	協力団体数	実施（回）	参加者数
夏休み期間中（7/21～8/28）	12	31	767 人
冬休み期間中（12/22～12/27）	6	12	230 人
春休み期間中（3/28～3/29）	4	4	107 人
合計	22	47	1,104 人

④ おはなし小道具の貸出し

市内の読み聞かせボランティアグループを対象に、大型絵本、大型紙芝居などの貸出しを行いました。 貸出件数 11 件

令和5年度 かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館 利用実績
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

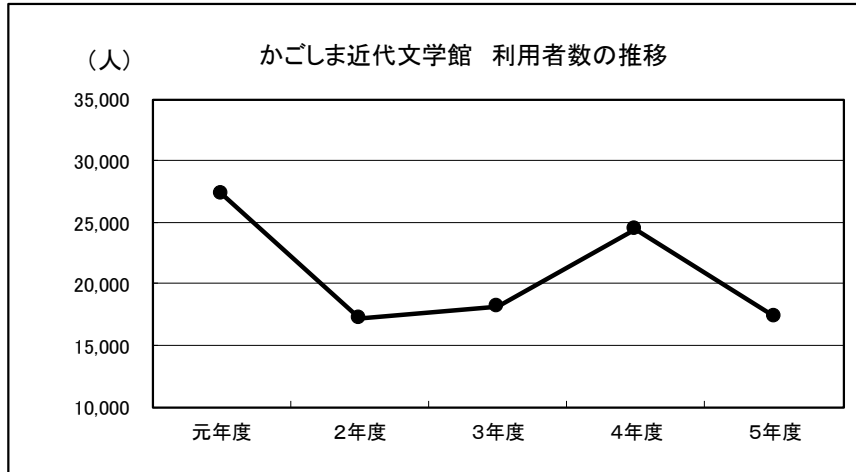
(単位:人)

区分				5年度	4年度	対前年度	対前年比(%)	
かごしま近代文学館	常設展示	有料	個人	4,357	5,498	△ 1,141	79.2	
			団体	1,105	209	896	528.7	
			年間パスポート	503	457	46	110.1	
			減額	福祉施設の活動(半額)	0	0	0	－
				※ 団体料金適用	557	408	149	136.5
			小計	6,522	6,572	△ 50	99.2	
		免除	教育施設の活動	797	5,291	△ 4,494	15.1	
			福祉施設の活動(全額)	83	129	△ 46	64.3	
			敬老バス・ 身体障害者手帳等・その他	2,656	3,066	△ 410	86.6	
			小計	3,536	8,486	△ 4,950	41.7	
		無料	幼児	327	277	50	118.1	
		計	10,385	15,335	△ 4,950	67.7		
		特別企画展	594	3,486	△ 2,892	－		
		各種講座・講演会・催しもの	4,085	2,645	1,440	154.4		
		アウトリーチ	0	0	0	－		
		ライブラリー	984	1,662	△ 678	59.2		
		貸しホール利用者	1,306	1,272	34	102.7		
合 計	17,354	24,400	△ 7,046	71.1				
かごしまメルヘン館	常設展示	有料	個人	33,876	20,780	13,096	163.0	
			団体	6,409	1,057	5,352	606.3	
			年間パスポート	4,712	5,010	△ 298	94.1	
			減額	福祉施設の活動(半額)	14	0	14	－
				※ 団体料金適用	819	485	334	168.9
			小計	45,830	27,332	18,498	167.7	
		免除	教育施設の活動	3,117	6,381	△ 3,264	48.8	
			福祉施設の活動(全額)	1,240	709	531	174.9	
			敬老バス・ 身体障害者手帳等・その他	4,720	3,550	1,170	133.0	
			小計	9,077	10,640	△ 1,563	85.3	
		無料	幼児	22,886	18,030	4,856	126.9	
		計	77,793	56,002	21,791	138.9		
		特別企画展	11,460	4,512	6,948	254.0		
		各種講座・催しもの	3,213	1,205	2,008	266.6		
		アウトリーチ	0	0	0	－		
		親子読書コーナー	8,002	6,360	1,642	125.8		
		合 計	100,468	68,079	32,389	147.6		
かごしま近代文学館・メルヘン館 合計				117,822	92,479	25,343	127.4	

※1: 団体料金適用: カゴシマシティビュー1日パスポート、薩摩大使、美術館相互割引等期間限定割引チケットなど

5年間の利用者数の推移

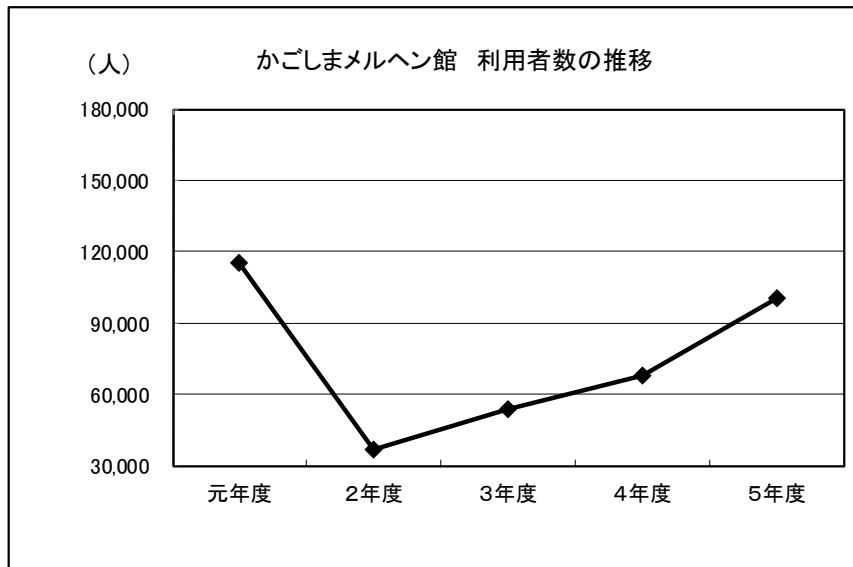
◎かごしま近代文学館



(人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	平均
利用者数	27,290	17,240	18,099	24,400	17,354	20,877

◎かごしまメルヘン館



(人)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	平均
利用者数	115,553	36,721	53,649	68,079	100,468	74,894

(令和3年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月14日から9月30日まで全館休館
1月27日から3月6日までメルヘン館のみ休館

(令和2年度)

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月18日から5月6日まで全館休館

令和5年度 かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館 観覧料等収納額

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

区分			5年度		4年度		対前年度	
			件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
かごしま近代文学館	常設展示観覧料	個人	3,837	1,020,550	3,248	888,150	589	132,400
		団体	1,050	109,280	158	24,220	892	85,060
		年間パスポート	198	105,800	249	131,850	△ 51	△ 26,050
		福祉施設の活動	0	0	0	0	0	0
		※ 団体料金適用	468	100,540	408	91,080	60	9,460
	計		5,553	1,336,170	4,063	1,135,300	1,490	200,870
	特別展示観覧料	個人	332	194,700	2,346	1,401,300	△ 2,014	△ 1,206,600
		団体	55	27,500	53	26,500	2	1,000
		計	387	222,200	2,399	1,427,800	△ 2,012	△ 1,205,600
	ホール使用料		42	88,000	32	99,100	10	△ 11,100
	図録		380	321,850	359	273,000	21	48,850
	合計		6,362	1,968,220	6,853	2,935,200	△ 491	△ 966,980
かごしまメルヘン館	常設展示観覧料	個人	25,399	6,728,350	18,452	4,954,200	6,947	1,774,150
		団体	6,055	731,720	955	137,860	5,100	593,860
		年間パスポート	1,426	794,000	1,946	1,083,750	△ 520	△ 289,750
		福祉施設の活動	8	975	0	0	8	975
		※ 団体料金適用	672	140,620	485	103,800	187	36,820
	計		33,560	8,395,665	21,838	6,279,610	11,722	2,116,055
	特別展示観覧料	個人	7,541	4,083,600	2,874	1,544,400	4,667	2,539,200
		団体	357	135,000	102	45,000	255	90,000
		福祉施設の活動	6	900	0	0	6	900
	計		7,904	4,219,500	2,976	1,589,400	4,928	2,630,100
	合計		41,464	12,615,165	24,814	7,869,010	16,650	4,746,155

※団体料金適用:カゴシマシティビュー1日パスポート、薩摩大使、美術館相互割引等期間限定割引チケットなど

5 事業概要

(1) 作家別資料収集状況（平成5年度～令和5年度）

作家名	受入区分	特 別 資 料										図書 雑誌	合 計
		原 稿	自筆資料	書 簡	書 画	印刷物	写 真	映像資料	録音資料	遺品他	小 計		
海音寺潮五郎	購 入	11		12	4	1		4			32	223	255
	寄贈・寄託	287	221	833	51	224	9	9	24	163	1,821	1,480	3,301
林 芙美子	購 入	11		53	12	2		10	1	1	90	310	400
	寄贈・寄託	5		10	4	2	8			68	97	271	368
椋 鳩十	購 入	9	11	1	6						27	179	206
	寄贈・寄託	365	18	26	57	37	1	24		29	557	579	1,136
梅崎春生	購 入	24		14	9	25		4		20	96	306	402
	寄贈・寄託	2	34	372	8	31	7		1	143	598	62	660
島尾敏雄	購 入	798	180	192	24	57	5	4	1	87	1,348	157	1,505
	寄贈・寄託	59	51	305	1	694	159	63	9	178	1,519	5,536	7,055
向田邦子	購 入	8		1		25		725	70	4	833	310	1,143
	寄贈・寄託	150	9	180	40	3,113	5,171	631	394	1,482	11,170	1,483	12,653
有島武郎	購 入	12	1	9	1			1			24	99	123
	寄贈・寄託			2	6		2			13	23	11	34
有島生馬	購 入	6		1	10						17	15	32
	寄贈・寄託			1	2						3	3	6
里見 弴	購 入	12	2		11			1			26	146	172
	寄贈・寄託										0	2	2
昇 曙夢	購 入	1		3				2			6	29	35
	寄贈・寄託										0	8	8
山本實彦	購 入										0	20	20
	寄贈・寄託			181	3					1	185	8	193
黒田三郎	購 入	4		1	2						7	48	55
	寄贈・寄託	137	57	180	4	9	24		6	8	425	387	812
一色次郎	購 入	8									8	55	63
	寄贈・寄託					2	8				10	1	11
妻木新平	購 入									1	1	23	24
	寄贈・寄託	301		1	8	12	29			80	431	57	488
平林彪吾	購 入			4							4	8	12
	寄贈・寄託										0	13	13
古木鐵太郎	購 入				1						1	4	5
	寄贈・寄託	34	1	26	8	8	67			2	146	70	216
八田知紀	購 入			1	8						9	7	16
	寄贈・寄託									2	2	5	7
高崎正風	購 入			1	8					1	10	1	11
	寄贈・寄託				1	21	11				33	4	37
黒田清綱	購 入	1		2	3					1	7	0	7
	寄贈・寄託			1	9		2				12	42	54
税所敦子	購 入			8	27						35	5	40
	寄贈・寄託				1						1	1	2
杉田久女	購 入			2	12						14	12	26
	寄贈・寄託	2	11	259	120	58	318			43	811	368	1,179
山口誓子	購 入	4			20						24	52	76
	寄贈・寄託					2	2			4	8	36	44
吉井 勇	購 入	11		75	25						111	67	178
	寄贈・寄託			1							1	1	2
森園天涙	購 入	6			1						7		7
	寄贈・寄託	573	6	2	7	1	90			64	743	749	1,492
萬造寺齋	購 入	1	1	1	19						22	5	27
	寄贈・寄託	10	17	97	105	27	3			11	270	913	1,183
藤後左右	購 入				7						7	40	47
	寄贈・寄託	13	127	2	21	32	27			63	285	265	550
篠原鳳作	購 入	9		1							10	1	11
	寄贈・寄託	1	4	71	3	44	327	3	3	88	544	117	661
福永耕二	購 入				2						2	4	6
	寄 贈	19		179	80	23	33			23	357	166	523
その他	購 入	46	3	69	90	32	1	79		32	352	23,187	23,539
	寄 贈	314	275	453	101	213	687	22	48	104	2,217	19,327	21,544
小 計	購 入	982	198	451	302	142	6	830	72	147	3,130	25,313	28,443
	寄贈・寄託	2,272	831	3,182	640	4,553	6,985	752	485	2,569	22,269	31,965	54,234
合 計		3,254	1,029	3,633	942	4,695	6,991	1,582	557	2,716	25,399	57,278	82,677

※資料受入時の点数のため、実際の収蔵点数とは合致しない場合があります。

(2) 主な寄贈・寄託・購入資料

寄贈・寄託においては、この他にも多くの資料をお寄せいただきました。
誠にありがとうございました。

受入区分	作家名	資料名
購入	棕鳩十	塚原健二郎宛葉書
	向田邦子	テレビ台本「カンガルーの反乱」 2～5
	山口誓子	色紙「碧揚羽通るを時の驕りとす」 「手花火に妹がかひなの照らさるる」 「匙なめて童たのしも夏氷」 短冊「桐咲けり天守に靴の音あゆむ」
	森園天涙	短冊「たけやまの吹きゆく風の波がしらうねりさみしき夕まぐれかも」
寄贈	海音寺潮五郎	遺品 腕時計
	島尾敏雄	遺品 コート
	向田邦子	原稿「伽倻伽」
	福永耕二	色紙「子の幃に妻ゐて妻もうすみどり」 「色鳥やわが靴のいつ磨かれし」
寄託	棕鳩十（寄託）	原稿「ほうまん池のカッパ」（「カッパとちからもち」より改題）

寄贈・寄託 396 点 購入 527 点

7 管理運営

(1) 利用者数

① かごしま近代文学館 年度別利用者数（令和元年度～令和5年度）

（単位：人）

区分・年度				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
常設展示	有料	個人	一 般	3,701	1,809	2,904	5,259	3,964	
			小中学生	406	158	214	239	393	
			小 計	4,107	1,967	3,118	5,498	4,357	
		団体	一 般	115	31	53	123	82	
			小中学生	1,722	351	141	86	1,023	
			小 計	1,837	382	194	209	1,105	
		団体料金適用			402	121	212	408	557
		年 間 パスポート (1回目)	一 般	350	267	274	232	199	
			小中学生	17	19	19	17	14	
			小 計	367	286	293	249	213	
		年 間 パスポート (2回目以降)	一 般	219	201	268	200	288	
			小中学生	3	8	12	8	2	
			小 計	222	209	280	208	290	
		福祉施設の活動(50%減額)			0	0	0	0	0
		計			6,935	2,965	4,097	6,572	6,522
	免除	敬老パス			422	226	329	877	350
		身体障害者手帳等			422	175	264	507	617
		教育施設の活動			1,123	2,701	3,995	5,291	797
		福祉施設の活動			424	72	44	129	83
		新一年生パスポート			14	5	17	8	11
		視察等・その他			2,190	1,062	1,168	1,674	1,678
		計			4,595	4,241	5,817	8,486	3,536
	無料	幼児			378	226	217	277	327
		その他			0	0	0	0	0
		計			378	226	217	277	327
		計			11,908	7,432	10,131	15,335	10,385
館主催行事	特別企画展			1,360	0	1,044	3,486	594	
	講演会・講座等			2,788	1,600	1,601	1,567	2,118	
	出前			36	0	0	0	0	
	その他の催し等			4,369	※1 6,227	※2 3,999	1,078	1,967	
	計			8,553	7,827	6,644	6,131	4,679	
ライブラリー				4,832	1,157	926	1,662	984	
文学ホール利用者(貸出)				1,065	674	188	901	579	
メルヘンホール利用者(貸出)				932	150	210	371	727	
合 計				27,290	17,240	18,099	24,400	17,354	
開館日数(日)				310	292	268	307	308	
1日平均利用者(人)				88	59	68	79	56	

※1:財団自主事業「特別展 りぼん 250万里ぼんっ子大增刊号」入場者数5,714人を含む。

※2:財団自主事業「特別展 りぼん 250万里ぼんっ子大增刊号」入場者数3,013人を含む。
(開催期間 令和2年3月10日から4月12日まで 延べ入場者数8,727人)

② かごしまメルヘン館 年度別利用者数（令和元年度～令和5年度）

（単位：人）

区分・年度				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
常設展示	有料	個人	一 般	25,826	8,283	11,581	16,740	26,805	
			小中学生	7,315	1,924	3,399	4,040	7,071	
			小 計	33,141	10,207	14,980	20,780	33,876	
		団体	一 般	753	37	317	304	418	
			小中学生	8,075	704	890	753	5,991	
			小 計	8,828	741	1,207	1,057	6,409	
		団体料金適用			676	164	265	485	819
		年 間 パスポート (1回目)	一 般	1,936	1,429	1,403	1,708	1,387	
			小中学生	315	125	130	238	183	
			小 計	2,251	1,554	1,533	1,946	1,570	
		年 間 パスポート (2回目以降)	一 般	3,493	2,399	2,595	2,830	2,911	
			小中学生	412	137	146	234	231	
			小 計	3,905	2,536	2,741	3,064	3,142	
		福祉施設の活動(50%減額)			7	2	0	0	14
		計			48,808	15,204	20,726	27,332	45,830
	免除	敬老パス			525	262	254	353	491
		身体障害者手帳等			1,237	664	700	1,042	1,531
		教育施設の活動等			4,914	3,447	4,653	6,381	3,117
		福祉施設の活動(免除)			1,170	468	452	709	1,240
		新一年生パスポート			635	290	444	440	662
		視察等・その他			2,820	1,103	1,297	1,715	2,036
		計			11,301	6,234	7,800	10,640	9,077
	無料	幼児			25,251	10,435	12,755	18,030	22,886
		その他			0	0	0	0	0
		計			25,251	10,435	12,755	18,030	22,886
		計			85,360	31,873	41,281	56,002	77,793
館主催行事	特別企画展			15,728	0	6,050	4,512	11,460	
	おはなし会			280	0	24	105	118	
	えいが会			0	0	0	0	0	
	ワークショップ			114	70	77	74	116	
	出前等			501	0	10	0	0	
	その他の催し等			3,515	523	926	1,026	2,979	
	計			20,138	593	7,087	5,717	14,673	
	親子読書コーナー			10,055	4,255	5,281	6,360	8,002	
	合 計			115,553	36,721	53,649	68,079	100,468	
	開館日数(日)			310	292	234	307	307	
	1日平均利用者(人)			373	126	229	222	327	

（２） 公益財団法人かごしま教育文化振興財団の概要 （令和５年４月１日現在）

① 目的

この法人は、鹿児島市の設置する教育文化施設の管理運営等を行うとともに、教育、学術、芸術文化及び生涯学習に関する各種の事業を行い、もって個性豊かな市民文化を創造することを目的とする。

② 事業

- ・教育文化施設の管理及び運営に関する事業
- ・学術及び芸術文化に関する企画を提供する事業
- ・学術及び芸術文化の普及及び支援に関する事業
- ・利用者サービス事業
- ・その他この法人の目的を達成するために必要な事業

③ 事務局

鹿児島県鹿児島市城山町５番１号 かごしま近代文学館内

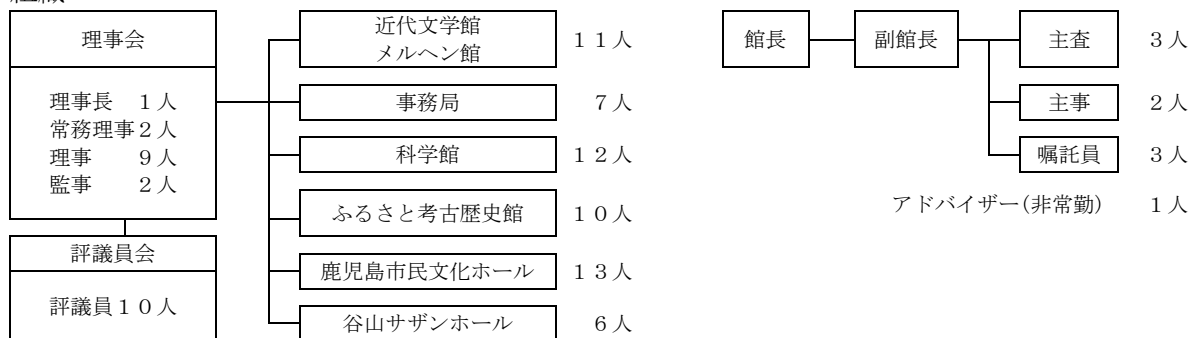
④ 基本財産

１億１千万円

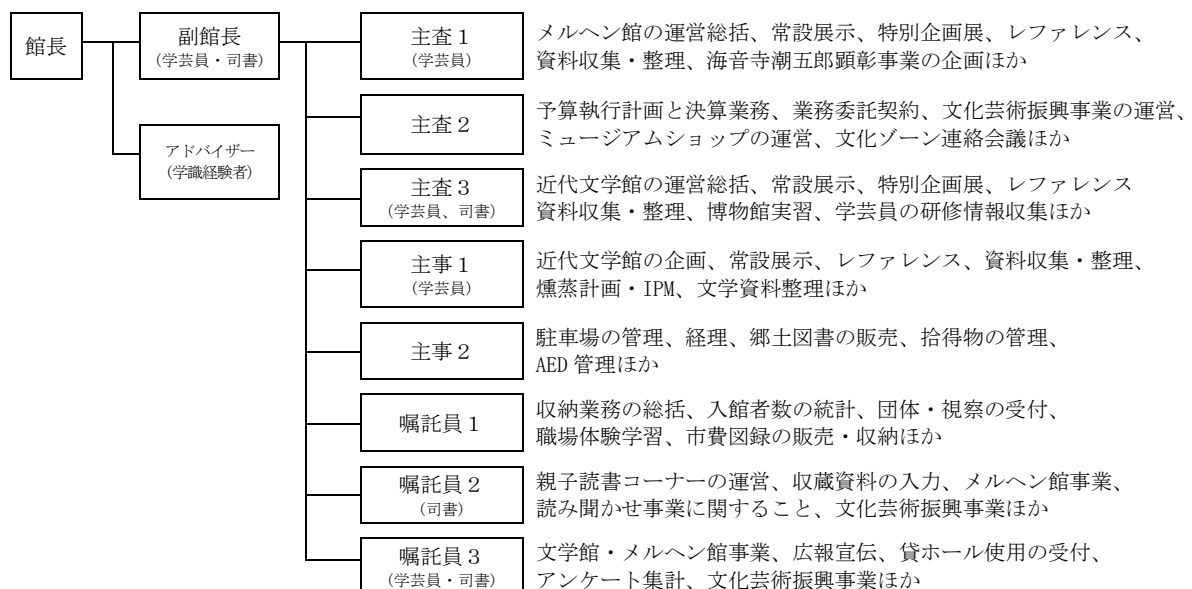
⑤ 設立年月日

平成９年１２月１日

⑥ 組織



（３） かごしま近代文学館・かごしまメルヘン館 事務の業務体制 （令和５年４月１日現在）



8 かごしま近代文学館条例

平成9年10月3日
条例 第35号

(設置)

第1条 本市における文学の振興及び文化の向上を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定に基づき、近代文学館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 近代文学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
かごしま近代文学館	鹿児島市城山町5番1号

(事業)

第3条 かごしま近代文学館(以下「近代文学館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 鹿児島にゆかりのある近代文学等(以下「近代文学等」という。)に関する資料を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 近代文学等に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 近代文学等に関する講座、講演会等を開催すること。
- (4) 近代文学等及び童話等に関する展示会、講演会等のために近代文学館の施設及び設備(以下「施設等」という。)を提供すること。
- (5) その他近代文学館の設置の目的を達成するために必要な事業

(指定管理者による管理)

第3条の2 近代文学館の管理は、法人その他の団体であつて、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者の指定の申請)

第3条の3 前条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他市長が必要と認める書類を添えて申請しなければならない。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者の指定)

第3条の4 市長は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号のいずれにも該当するもののうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

- (1) 近代文学館の設置目的を達成することができるものであること。
- (2) 市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (3) 近代文学館の効用を最大限に発揮するとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) 近代文学館の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(指定管理者が行う業務)

第3条の5 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条各号に掲げる事業に関する業務
- (2) 第5条及び第6条の規定による近代文学館の使用の許可等に関する業務
- (3) 第7条の規定による近代文学館の使用許可の取消し等に関する業務
- (4) 第11条の規定による近代文学館の使用目的の変更の許可に関する業務
- (5) 第12条の規定による近代文学館における特別の設備の付加の許可等に関する業務
- (6) 第14条の規定による近代文学館の入館の制限に関する業務
- (7) 施設等の維持管理に関する業務
- (8) 前各号に掲げるもののほか、近代文学館の運営に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(開館時間等)

第3条の6 近代文学館の開館時間は、午前9時30分から午後6時までとする。ただし、近代文学館に入館することができる時間(以下「入館時間」という。)は、午前9時30分から午後5時30分までとする。

2 近代文学館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日、1月2日及び同月3日をいう。以下同じ。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日で休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月1日まで

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、開館時間若しくは入館時間を変更し、又は臨時に休館日を設け、若しくは臨時に開館することができる。

(平17条例71・追加、平26条例24・一部改正)

(観覧料等)

第4条 近代文学館が主催して展示する近代文学等に関する資料(以下「文学資料等」という。)を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 次条に規定する許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、別表第2に定める使用料を規則で定める期日までに納付しなければならない。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者に管理を行わせる場合において、別表第1及び別表第2に定める額の範囲内で当該指定管理者が市長の承認を得て料金を定めたときは、文学資料等を観覧しようとする者又は使用者は、当該料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

4 観覧料(前項の場合にあつては、利用料金)は、前納とする。ただし、市長(同項の場合にあつては、指定管理者。第9条において同じ。)が特に必要があると認めるときは、後納とすることができる。

5 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

(平17条例71・全改、平26条例24・一部改正)

(使用の許可)

第5条 近代文学等及び童話等に関する展示会、講演会等のため、施設等を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 市長は、施設等の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に条件を付けることができる。

(平26条例24・一部改正)

(使用の不許可)

第6条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設等の使用を許可しない。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。

(2) 文学資料等又は施設等を毀損し、又は汚損するおそれがあると認めるとき。

(3) 前2号に掲げる場合のほか、施設等の管理上支障があると認めるとき。

(平26条例24・一部改正)

(使用許可の取消し等)

第7条 市長は、使用者の申出による場合のほか、次の各号のいずれかに該当するときは、施設等の使用を停止させ、又は使用許可を取り消すことができる。

(1) 使用者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 使用者が使用許可の条件に違反したとき。

(3) 使用者が偽りその他不正な手段により使用許可を受けたとき。

(4) 前3号に掲げる場合のほか、市長が管理上又は公益上必要と認めたとき。

2 前項の規定により、市長が施設等の使用を停止させ、又は使用許可を取り消した場合において、使用者に損害が生じて、市は、その賠償の責めを負わないものとする。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

第8条 削除

(平17条例71)

(観覧料等の減免)

第9条 市長は、規則で定める特別の理由があると認めるときは、観覧料及び使用料(第4条第3項の場合にあつては、利用料金。次条において同じ。)を減額し、又は免除することができる。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第10条 既納の観覧料及び使用料は、還付しない。ただし、規則で定める特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平17条例71・平26条例24・一部改正)

(使用する権利の譲渡等の禁止)

第11条 使用者は、施設等を使用する権利を譲渡し、若しくは転貸し、又は市長の許可を受けずに目的を変更することはできない。

(平26条例24・一部改正)

(特別の設備等)

第12条 使用者は、近代文学館の使用に当たって、特別の設備を付加し、又は近代文学館の備品以外の器具を搬入し、使用しようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、管理上必要があると認めるときは、使用者の負担において特別な設備をさせることができる。

3 使用者は、前2項の規定により特別の設備を付加し、又は近代文学館の備品以外の器具を搬入し、使用したときは、使用許可期間満了までにこれを撤去し、原状に復さなければならない。

(平26条例24・一部改正)

(使用者の義務)

第13条 使用者は、使用期間中その使用に係る施設等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

(入館の制限)

第14条 市長は、近代文学館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) 文学資料等又は施設等を毀損し、若しくは汚損し、又はこれらの行為をするおそれがあるとき。

(3) 管理上の必要な指示に従わないとき。

(4) その他管理上支障があると認められるとき。

(平26条例24・一部改正)

(損害賠償義務)

第15条 故意又は過失により、文学資料等又は施設等をき損し、汚損し、又は亡失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第16条 指定管理者又は近代文学館の業務に従事している者(以下「従事者」という。)は、個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、近代文学館の管理に関し、知ることのできた秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は従事者の職務を退いた後においても、同様とする。

(平17条例71・全改)

(委任)

第17条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

(平26条例24・一部改正)

付 則

(施行期日)

1 この条例は、市長が規則で定める日から施行する。

(鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例の一部改正)

- 2 鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例(昭和 42 年条例第 37 号)の一部を次のように改正する。
第 1 条中第 29 号を第 30 号とし、第 16 号から第 28 号までを 1 号ずつ繰り下げ、第 15 号の次に次の 1 号を加える。
(16) かごしま近代文学館
付 則 (平成 17 年 3 月 30 日条例第 22 号)
この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
付 則 (平成 17 年 7 月 11 日条例第 71 号)
この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条の次に 5 条を加える改正規定(第 3 条の 3 及び第 3 条の 4 に係る部分に限る。)は、公布の日から施行する。
付 則 (平成 26 年 3 月 18 日条例第 24 号抄)
(施行期日)
1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 4 条関係)
(平 17 条例 22・平 26 条例 24・一部改正)

区 分			観 覧 料	
			個 人	20 人以上の団体
常設展示	近代文学館	一 般	300 円	1人につき 240 円
		中学生・小学生	150 円	1人につき 120 円
	共通	一 般	500 円	1人につき 400 円
		中学生・小学生	250 円	1人につき 200 円
年間観覧券	近代文学館	一 般	1人1年間につき 600 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 300 円	
	共通	一 般	1人1年間につき 1,000 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 500 円	
特 別 展 示			1人につき 2,000 円以内で市長が定める額	

備考

- 「常設展示」とは近代文学館が平常的に常設展示室で行う文学資料等の展示をいい、「特別展示」とは近代文学館が特別に文学ホールで行う文学資料等の展示をいう。
- 「共通」とは、近代文学館の常設展示とかごしまメルヘン館条例(平成 9 年条例第 36 号)に規定するかごしまメルヘン館の常設展示との両方を観覧する場合をいう。
- 「一般」とは、小学生及び中学生以外の者で 15 歳以上のものをいう。
- 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 年間観覧券の有効期間は、観覧料の納付の日から起算して 1 年間とする。

別表第 2 (第 4 条関係)
(平 26 条例 24・一部改正)

1 文学ホール等使用料

区 分		午前 9 時 30 分から 午後 1 時まで	午後 1 時から 午後 6 時まで	午前 9 時 30 分から 午後 6 時まで
文学ホール	使用者が入場料金を徴収しない場合	2,500 円	3,500 円	6,000 円
	使用者が入場料金を徴収する場合	3,200 円	4,600 円	7,800 円
メルヘンホール	使用者が入場料金を徴収しない場合	1,000 円	1,400 円	2,400 円
	使用者が入場料金を徴収する場合	1,200 円	1,800 円	3,000 円

2 附属設備使用料

附属設備	1,000 円以内で規則で定める額
------	-------------------

9 かごしまメルヘン館条例

平成9年10月3日
条例 第36号

(設置)

第1条 人形の展示及び映像等を通じ、童話、民話等の物語の世界を演出することにより、青少年に夢を与えるとともに市民の豊かな感性を育むため、かごしまメルヘン館(以下「メルヘン館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 メルヘン館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
かごしまメルヘン館	鹿児島市城山町5番1号

(指定管理者による管理)

第2条の2 メルヘン館の管理は、法人その他の団体であつて、市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせることができる。

(平17条例72・追加)

(指定管理者の指定の申請)

第2条の3 前条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他市長が必要と認める書類を添えて申請しなければならない。

(平17条例72・追加)

(指定管理者の指定)

第2条の4 市長は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号のいずれにも該当するもののうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

- (1) メルヘン館の設置目的を達成することができるものであること。
- (2) 市民の平等利用を確保することができるものであること。
- (3) メルヘン館の効用を最大限に発揮するとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (4) メルヘン館の管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有しており、又は確保できる見込みがあること。

(平17条例72・追加)

(指定管理者が行う業務)

第2条の5 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第6条の規定によるメルヘン館の入館の制限に関する業務
- (2) メルヘン館の施設及び設備の維持管理に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、メルヘン館の運営に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(平17条例72・追加)

(開館時間等)

第2条の6 メルヘン館の開館時間は、午前9時30分から午後6時までとする。ただし、メルヘン館に入館することができる時間(以下「入館時間」という。)は、午前9時30分から午後5時30分までとする。

2 メルヘン館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日(その日が休日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日、1月2日及び同月3日をいう。以下同じ。))に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日で休日でない日)
- (2) 12月29日から翌年の1月1日まで

3 前2項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、開館時間若しくは入館時間を変更し、又は臨時に休館日を設け、若しくは臨時に開館することができる。

(平17条例72・追加)

(観覧料等)

第3条 メルヘン館の展示物を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者に管理を行わせる場合において、別表に定める額の範囲内で当該指定管理者が市長の承認を得て料金を定めたときは、メルヘン館の展示物を観覧しようとする者は、当該料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

3 観覧料(前項の場合にあつては、利用料金。次条及び第5条において同じ。)は、前納とする。ただし、市長(同項の場合にあつては、指定管理者。次条において同じ。)が特に必要があると認めるときは、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。

(平17条例72・全改)

(観覧料等の減免)

第4条 市長は、規則で定める特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

(平17条例72・一部改正)

(観覧料等の不還付)

第5条 既納の観覧料は、還付しない。ただし、規則で定める特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(平17条例72・一部改正)

(入館の制限)

第6条 市長は、メルヘン館を利用する者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。
- (2) メルヘン館の施設、附属設備又は展示物(以下「施設等」という。)をき損し、若しくは汚損し、又はこれらの行為をするおそれがあるとき。
- (3) 管理上の必要な指示に従わないとき。
- (4) その他管理上支障があると認められるとき。

(平 17 条例 72・一部改正)

(損害賠償義務)

第 7 条 故意又は過失により、施設等をき損し、汚損し、又は亡失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。

(秘密保持義務)

第 8 条 指定管理者又はメルヘン館の業務に従事している者(以下「従事者」という。)は、個人情報適切に保護されるよう配慮するとともに、メルヘン館の管理に関し、知ることのできた秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。指定管理者の指定の期間が満了し、若しくは指定を取り消され、又は従事者の職務を退いた後においても、同様とする。

(平 17 条例 72・全改)

(委任)

第 9 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

付 則

(施行期日)

1 この条例は、市長が規則で定める日から施行する。

(鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例の一部改正)

2 鹿児島市議会の議決を必要とする重要な公の施設を定める条例(昭和 42 年条例第 37 号)の一部を次のように改正する。

第 1 条中第 30 号を第 31 号とし、第 17 号から第 29 号までを 1 号ずつ繰り下げ、第 16 号の次に次の 1 号を加える。

(17) かごしまメルヘン館

付 則 (平成 17 年 3 月 30 日条例第 22 号)

この条例は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則 (平成 17 年 7 月 11 日条例第 72 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条の次に 5 条を加える改正規定(第 2 条の 3 及び第 2 条の 4 に係る部分に限る。)は、公布の日から施行する。

別表(第 3 条関係)

(平 17 条例 22・一部改正)

区 分			観 覧 料	
			個 人	20 人以上の団体
常設展示	メルヘン館	一 般	300 円	1人につき 240 円
		中学生・小学生	150 円	1人につき 120 円
	共通	一 般	500 円	1人につき 400 円
		中学生・小学生	250 円	1人につき 200 円
年間観覧券	メルヘン館	一 般	1人1年間につき 600 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 300 円	
	共通	一 般	1人1年間につき 1,000 円	
		中学生・小学生	1人1年間につき 500 円	
特 別 展 示			1人につき 2,000 円以内で市長が定める額	

備考

- 「常設展示」とはメルヘン館が平常的に常設展示室で行う展示をいい、「特別展示」とはメルヘン館が特別に文学ホールで行う展示をいう。
- 「共通」とは、メルヘン館の常設展示とかごしま近代文学館条例(平成 9 年条例第 35 号)に規定するかごしま近代文学館の常設展示との両方を観覧する場合をいう。
- 「一般」とは、小学生及び中学生以外の者で 15 歳以上のものをいう。
- 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 年間観覧券の有効期間は、観覧料の納付の日から起算して 1 年間とする。

かごしま
近代文学館・メルヘン館年報
令和5年度（2023）

発行日 令和6年9月
発 行 かごしま近代文学館
かごしまメルヘン館

〒892-0853

鹿児島市城山町5番1号

電話 099-226-7771

FAX 099-227-2653

<https://www.k-kb.or.jp/kinmeru>